

# 各教育事務所の調査結果

## 宇城教育事務所

- 1 教科に関する調査の結果
  - (1) 教科に関する調査の結果概要
  - (2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校、中学校）
- 2 質問紙調査の結果
  - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果
  - (2) 学校に対する調査の主な結果
  - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

# 1－(1) 教科に関する調査の結果（公立小中学校）

本管内の概要

- ・ 小学校では、**国語は全国平均より上回っており、算数と理科はほぼ同じ状況である。**
- ・ 中学校では、**国語・数学・理科すべて全国平均を下回っている。**

	【小学校6年生】		
	国語	算数	理科
管内	67%	64%	64%
県	65%	62%	63%
全国	65.6%	63.2%	63.3%

  

	【中学校3年生】		
	国語	数学	理科
管内	68%	49%	48%
県	68%	49%	49%
全国	69.0%	51.4%	49.3%

※表中の数値は平均正答率（％）、県の値は国から整数値で公表

# 1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校）

## 成 果

### 国語 成果が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う 【関連問題 3三ア～ウ】
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く 【関連問題 3四】
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像する 【関連問題 2二】

### 算数 成果が見られた内容

- 二つの数の最小公倍数を求めることができる 【関連問題 1(2)】
- 示された場面を解釈し除法で求めることができる理由を記述できる 【関連問題 1(3)】
- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる 【関連問題 4(4)】

### 理科 成果が見られた内容

- 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している 【関連問題 4(4)】
- メスシリンダーという器具を理解している 【関連問題 2(1)】
- 日光は直進することを理解している 【関連問題 3(1)】

## 課 題

※赤色のアンダーライン（依然として課題である問題）

### 国語 課題が見られた内容

- 表現の効果を考える 【関連問題 2三】
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える 【関連問題 2一(2)】
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える 【関連問題 1二】

### 算数 課題が見られた内容

- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる 【関連問題 1(4)】
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している 【関連問題 2(3)】
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる 【関連問題 4(1)】

### 理科 課題が見られた内容

- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる 【関連問題 1(4)】
- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる 【関連問題 4(3)】

# 1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（中学校）

## 成 果

### 国語 成果が見られた内容

- 行書の特徴を理解する 【関連問題 4一】
- 文脈に即して漢字を正しく書く 【関連問題 2二②】
- 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する 【関連問題 4三】

### 数学 成果が見られた内容

- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している 【関連問題 5】
- 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる 【関連問題 7(2)】
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している 【関連問題 9(1)】

### 理科 成果が見られた内容

- 力の働きに関する知識及び技能の活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる 【関連問題 5(1)】
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる【関連問題 4(1)】

## 課 題

※赤色のアンダーライン（依然として課題である問題）

### 国語 課題が見られた内容

- 表現の技法について理解する 【関連問題 3一】
- 自分の考えが分かりやすく伝えるように表現を工夫して話す 【関連問題 1三】
- 事象や行為、心情を表す語句について理解する 【関連問題 3二】
- 論理の展開などに注意して聞く 【関連問題 1二】

### 数学 課題が見られた内容

- 自然数を素数の積で表すことができる 【関連問題 1】
- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる 【関連問題 2】
- 反例の意味を理解している 【関連問題 3】
- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる 【関連問題 9(2)】

### 理科 課題が見られた内容

- 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる【関連問題 5(2)】
- 玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる 【関連問題 6(1)】

## 2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。(最下部除く) 単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
等 基本的 生活習慣	朝食を毎日食べていますか	94.6	94.6	94.4	94.1	92.8	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.9	90.8	90.4	94.0	93.4	92.2
	普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか(「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合)	29.9	29.4	30.7	23.4	24.6	29.8
自己規範意識、 達成感、 有用感等	自分には、よいところがあると思いますか	78.0	77.8	79.3	79.2	77.5	78.5
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	91.0	88.2	87.1	89.6	88.4	86.6
	将来の夢や目標をもっていますか	83.1	80.9	79.8	67.9	67.7	67.3
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.5	96.6	96.8	97.9	97.1	96.4
	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.6	88.4	85.4	87.0	86.0	82.9
学習習慣等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます。)	67.0	69.3	71.1	60.1	54.7	58.5
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。)(小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合)	85.4	85.1	85.2	66.2	66.1	69.5
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)(10分以上の割合)	58.7	55.8	59.6	42.1	42.6	48.6
	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(「そのままにしている」の割合)	14.9	15.5	11.6	13.6	14.6	10.9

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

## 2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果②

単位(%)

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
地域社会や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	59.4	55.3	52.7	41.1	40.7	40.0
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	53.8	52.1	51.3	43.4	42.5	40.7
活用ICT機器の	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	34.5	50.1	43.9	8.3	44.1	37.2
	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	11.2	26.8	22.5	3.3	25.4	17.8
	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	94.4	95.2	94.4	92.6	94.4	92.6
主体的・対話的で深い学びの 学習の時間	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	57.9	59.4	65.4	49.7	54.3	63.3
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.1	74.7	77.3	74.3	73.0	79.2
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	77.3	78.4	80.1	74.7	76.9	78.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.1	76.8	78.2	74.0	70.5	74.7
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	75.9	73.2	72.7	64.7	71.3	72.1
理解度の	国語の授業の内容はよく分かりますか	85.5	85.1	84.0	79.0	77.1	81.2
	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	81.3	80.6	81.2	79.2	69.2	76.2
	理科の授業の内容はよく分かりますか	89.5	88.9	88.5	67.5	69.7	75.2

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

# 2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
指 生 導 徒	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95.5	87.5	87.2	100	92.1	95.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100	99.4	98.7	100	99.4	98.1
向 学 上 校 に 関 連 運 営、 教 員 の 資 質 の 状 況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	90.9	84.2	73.2	80.0	70.5	55.7
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	100	95.1	94.8	100	92.7	91.3
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100	96.3	94.2	100	96.3	93.3
	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加含む)	95.5	83.8	76.0	90.0	88.6	73.0
に び 主 関 的 視 点 ・ 対 話 的 状 況 の 授 業 改 善	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	95.5	91.8	87.2	80.0	87.4	87.9
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	81.8	78.3	75.1	60.0	78.9	80.7
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	86.4	84.1	80.9	90.0	84.3	86.2
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	81.8	91.8	88.0	100	93.4	88.2
家 庭 学 習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか	100	97.9	96.5	100	95.8	93.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	90.9	93.9	89.7	100	95.2	86.9

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

## 2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
ICT	調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	59.1	69.6	61.9	30.0	62.1	56.2
	調査対象学年児童生徒同士がやりとりがやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますかどの程度行っていますか。（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	31.8	42.4	31.3	30.0	40.9	27.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	54.5	58.5	52.7	60.0	65.7	61.1
	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	59.1	51.5	48.2	40.0	65.1	58.0
の全学調の結果等活用	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	97.6	95.9	100	98.8	92.7
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.3	91.7	100	97.0	88.5
症新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 の 対 応	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童生徒に対する、夏季等の長期休業期間の延長、臨時休業、短縮授業・分散登校の期間中、家庭での学習としてどのようなものを行っていましたか。（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書による学習（デジタル教科書を含む）	31.8	55.2	36.0	30.0	53.0	33.6
	・学校が作成したプリントなどによる学習（電子メールや学校のホームページなどを活用して配信する場合を含む）	40.9	59.8	41.7	30.0	56.6	39.8
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	22.7	48.8	25.5	20.0	47.5	24.8

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

## 2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

### 【児童生徒に対する調査から】

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく上回っている。
- 「授業でP C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく下回っている。
- 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく下回っている。

### 【学校に対する調査から】

- 「I C Tを活用した校務の効率化を通じて、生徒の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく上回っている。
- 「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研修会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく上回っている。
- 「児童（生徒）一人一人に配備されたP C・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。」では、小中ともに、全国及び県平均を大きく下回っている。
- 「児童（生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか。」では、小中ともに全国及び県平均を大きく下回っている。

### 3 今後の重点取組

#### ○ 重点取組1 「宇城管内学力向上3つの重点取組の焦点化」

全国及び県学力・学習状況調査の結果を受けて、各学校の実態に応じて、以下3つの重点取組を焦点化した取組を行う。

- ・ 子供を「学びの主体」とした授業づくりを充実させる。
  - ※ 課題把握や課題解決を効果的に進めるICT活用（GIGAスクールとの連携）
  - ※ 個に応じた指導や協働的な学びを通じた「考えたことを表現する」場の設定
- ・ 授業の終末等において、視点を明確にした振り返りや適用問題を行う。
  - ※ 適用問題、過去の県学調・全学調の問題、フォローアッププリント、学校独自のドリル等を積極的に活用
- ・ 家庭学習の質の向上に向けた取組を振り返り、取組を強化する。
  - ※ 授業内容とリンクした家庭学習

#### ○ 重点取組2 「共通実践事項の更なる徹底」

- ・ 全国及び県学力・学習状況調査の結果を受けて、共通実践事項のこれまでの効果を検証し、バージョンアップする。
- ・ 共通実践事項を全職員で徹底して取り組む。